

地域生活支援事業

～地域活動支援センター機能強化事業～

視察旅行 in 岡山



令和2年2月21日(金)22日(土)、地域生活支援事業の一環として、一泊二日の視察旅行に行きました。一日目は岡山県倉敷市にある、社会福祉法人あけぼの福祉会 就労継続支援B型事業所「倉敷市まびの道」を見学してきました。事業所がある倉敷市真備町は平成30年7月にあった西日本豪雨で甚大な被害を受けた地域で、事業所自体は大きな被害には至らなかったようですが、利用者さんや職員のみなさんの中には被災に合われた方もいらっしたそうです。その当時の状況や思いをお話して下さり、みなさん神妙にお話を聞いておられました。施設内では数名の利用者さんが自動車部品やキャンドルの内職作業をされており、他の利用者さんは倉敷市内の病院や福祉施設等の花壇の手入れに行かれていました。

「まびの道」も作業内容として花苗・野菜苗を栽培、販売されており、やまなみと通じるものがありました。

その後は総社市にある備中国分寺を見学、田園風景の中に建つ五重塔は味わい深く、美しかったです。

二日目は岡山和気ヤクルト工場を見学してきました。おなじみのヤクルトの生産工程を見学、工場はとても広くてきれいで、各フロアもヤクルトに関する色々な展示物等があり、いつまでも楽しめる空間でした。

今回の旅行は職員を含め総勢23名が参加され、それぞれが新しい交流や体験をし、有意義な時間を過ごすことができました。

就労継続支援B型事業所「倉敷市まびの道」



内職キャンドル作り

■施設内は、作業ごとにスペースを分けており作業が混ざらないような配慮をされていました。そのほかにも、花苗の育苗、定植、車の部品の組み立など様々な作業を見学させて頂きました。

備中国分寺

岡山県唯一の五重塔は、重要文化財に指定されており、身近で見るととても迫力がありました。帰りにはお土産売り場に立ち寄りお買い物。



ヤクルト工場



ヤクルト製品の紹介や説明、試飲、工場見学をしました。製造工程は、ほとんどが機械化されていてビックリしました。

東みよし町立

足代小学校～交流会～



令和2年1月29日(水)、東みよし町立足代小学校5年生のみなさんが、総合的学習の一環で取り組んでいる「エンターテイメント」をやまなみで披露してくれることとなり、今回初めての交流会が開催されました。

初めに、内職作業や自主製品の製造作業を見学。

子供たちは様々な作業をとっても興味深く見学しており、内容や感想をきちんとメモしていました。その真剣な姿に説明する職員たちも力が入りました。



子供たちも積極的に質問をしてくれていました。

説明している職員の表情もとてもイキイキしています。

【子供たちからの 素敵なお礼メッセージを一部紹介!!】

ワークサポートやまなみを見学させてくれてありがとうございました。私は、利用者の方に「やってみる？」と聞かれた時、利用者の方でやさしいんだなと思いました。

ダンスやマジック、クイズの発表の時に拍手や拍子をしてくれてありがとう。帰りたくないぐらい、楽しかったです。今度行くときは、お土産を持っていきます。

マジックで成功できるか不安だったけど、成功した時に拍手をしてくれてありがとうございました。利用者さんとのふれあいが終わってしまったとき、もっと居たかったです。



見学後は、5年生による「エンターテイメント」の発表!!この日の為に、クイズやマジック、ダンスや合唱と様々なエンターテイメントを準備してくれており、どの発表もとても楽しくて、面白くて、みんなが笑顔になる最高の時間を過ごすことができました。

特に、子供たちが利用者さんとお話をする時間では、子供たちが積極的に声をかけてくれて、答える利用者さんも自然と笑顔になり、たくさんお話をすることができました。子供達の可愛い笑顔に、癒されました。